

JACK大宮 帰宅困難者対策訓練実施のお知らせ

背景

首都直下型地震が発生すれば、埼玉県内で約70万人規模の帰宅困難者が発生すると想定されています。JACK大宮では、そのような状況に備え、**帰宅困難者の状態に応じた滞在場所の確保を中心とした対策訓練を実施します。**体調不良者や高齢者、女性、外国人など、多様なニーズに応じた受入体制を具体的に示すことで、**従来の「一律避難」から一歩進んだ新しい防災モデルを提示します。**

大規模複合ビルが率先して備える姿勢は、地域社会に安心感を与えるとともに、都市防災文化の発信源としての役割を果たします。

訓練の概要

- 1 日 時 令和7年12月16日（火）14:30～15:30 **【雨天決行】**
- 2 場 所 JACK大宮 1階エントランスホール及びその周辺
- 3 訓練項目
 - (1) 一時滞在施設開設運営訓練【実動訓練】
 - ・帰宅困難者の受付、備蓄品の配付
 - ・状態に応じた滞在スペースへの誘導配置
 - ・滞在者への各種情報提供
 - ・スマホ充電器等のサービス提供
 - (2) さいたま市防災課・大宮消防署指導による体験訓練
 - ・備蓄資機材及び災害用トイレの取扱訓練
 - ・応急担架作成・三角巾の取扱訓練
- 4 参加予定人数
100人（帰宅困難者役（入居テナント従業員）・運営スタッフ（都市整備公社職員））



R1.11.20 JACK大宮で開催された大宮駅周辺帰宅困難者対策訓練の様子